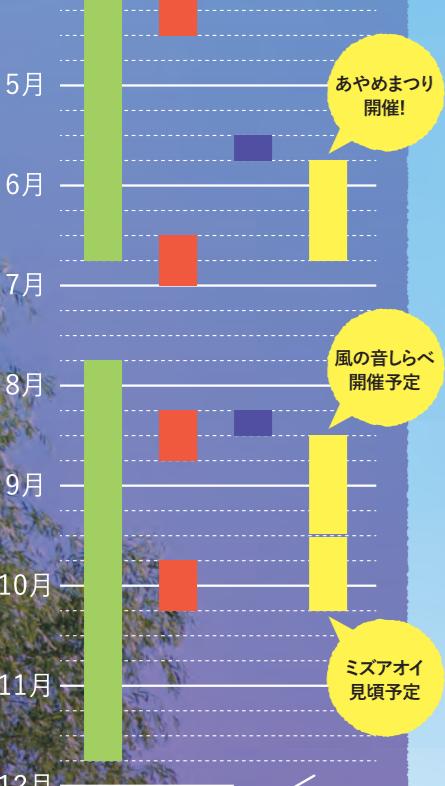


いつまでも変わらぬ 水郷の景色を

今年で70回目を迎える水郷潮来あやめ園は、潮来の初夏の風物詩。その会場となる水郷潮来あやめ園は、誇り高いシンボル的な存在として長年親しまれています。今後は循環型社会をコンセプトにした通年型観光を目指して、さらなる進化を遂げようとしているあやめ園。潮来市観光商工課の皆さんにその歴史や管理の取り組み、園の運営に込めた想いをお聞きしました。

毎年70万人以上が訪れる 水郷潮来あやめまつり

古くから水運の要衝として栄えた潮来市。情緒溢れる水郷の街には文人墨客が集い、今も文化や自然に対する風流の心が息づいている地域です。JR潮来駅から程近くにあり、毎年70万人以上が訪れる「水郷潮来あやめまつり」は、この街の中心にあるシンボリックな存在で、地域の誇り」と潮来市観光商工課長の河瀬由香さんは語ります。



Information

水郷潮来あやめ園

潮来市あやめ1-5

TEL: 0299-63-1111 (潮来市観光商工課)

TEL: 0299-63-1187 (あやめまつり大会本部)

営業時間: 終日入園自由

第70回 水郷潮来あやめまつり
5月21日(金)～6月20日(日)

「嫁入り舟」やライトアップなどイベント盛りだくさん!
詳細は潮来市公式HPでチェック!

www.city.itako.lg.jp

天候及び新型コロナウイルス感染症の状況により、
内容が変更となる場合がございます。



潮来市観光商工課
石橋 大輝さん



潮来市観光商工課
課長／河瀬 由香さん

れるあやめまつりは、好評により年々規模を拡大。それに伴い、街を挙げて前川下流沿いの水田を整備し、昭和51年にあやめ園がオープンしました。ビーチとなるクタールの敷地に約5000種100万株のあやめや花菖蒲が一面に咲き誇り、期間中に実施される「水郷潮来あやめまつり」の恒例イベント「嫁入り舟」やあやめ踊りなどは、まさに日本の美の極み。まつり期間中以外は、地域住民の散歩コースとしてお馴染みのスポットとして親しまれ、近年はサイクルスポットとしても人気があります。

「実はあやめまつりの一ヶ月のため、一年間を費やして準備しているんですよ」と潮来市観光商工課の石橋大輝さん。繊細で優美なあやめや花菖蒲は、気候に左右されやすく、連作障害もある植物。4年に一度はエリアごとに圃場の植え替えや土の交換が必要で、除草剤が使用できないため草刈りはすべて手作業。防虫剤の散布や化成肥料によって、日々変化する苗の状態を注意深くチェック



「嫁入り舟」…嫁入りする際の花嫁や嫁入り道具等を運搬するときにもサッパ舟が使われており、これが「嫁入り舟」のはじまりだとされています。水郷ならではのバージンロードです

目標は通年型観光

いつでも楽しめるあやめ園に

くしなくてはなりません。そのため、あやめまつりの期間中に美しく咲き誇るには、年間通じてマンパワーによる手間暇かけた管理が行われ、潮来市が委託した常勤と非常勤スタッフ約10名が毎日手入れをしているのです。

「作業工程年間計画を毎年立てて綺麗に咲くよう管理していますが、植物相手ですので花が小さかったり、色味が薄かつたり、イレギュラーはつきもの。色々なバランスを考慮しながら、優しく育てることを心がけていますね」

今まで経験と勘が必要だった花の栽培管理をデータ化するため、ICT栽培管理システムを導入。また、茨城県の農業改良普及セン

ターザのサポートによって土壌改良を重ね、来場客の心に残る絶景を生み出せるよう、日々取り組んでいます。

2020年はコロナの影響で中止となつたあやめまつりですが、第70回の節目となる今年は開催予定。昨年、残念ながら「嫁入り舟」に乗れなかつた花嫁たちがサッパ舟で花婿の元へ向かう雅な姿を披露し、期間中は夜間のライトアップも行われるなど、昼夜で見応えあるイベントが開催される予定です。

今後、あやめ園が目標に掲げるのは、地域の住みやすさと賑わいを両立させたコンパクトな通年型観光。SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みとして、水郷潮来サプライメント計画が進行中です。例えば、昨年好評だった竹風鈴イベント開催の中止以外にも、あやめ園はあやめまつり以外にもイベント開催中!

今後、あやめ園が目標に掲げるのは、地域の住みやすさと賑わいを両立させたコンパクトな通年型観光。SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みとして、水郷潮来サプライメント計画が進行中です。例えば、昨年好評だった竹風鈴イベント開催の中止以外にも、あやめ園はあやめまつり以外にも、イベント開催中!



あやめ

花期／4月下旬～5月上旬
花弁の弁元に入っているあやめ(綾目)模様が特徴。



杜若(かきつばた)

花期／5月中旬～5月末
花弁の弁元に白い一本の筋が入っているのが目印。



花菖蒲(はなしょうぶ)

花期／5月下旬～6月中旬
約5,000種類もあると言われる花菖蒲は、品種改良によって多種多様。他種との見分け方は花弁の弁元が黄色であること。

